

大人になっても 7月20日

中学生の頃、全国大会を目指していました。
毎日の早朝練習に、放課後も遅くまで。土日はもちろん
一年365日の練習漬けで、休みはわずかに2~3日。
先輩の指示には絶対に服従して、
言われたことを黙々と疑うことなく繰り返す。
そんな部活動も可能だった時代でした。
ネットもスマホもなく、音楽はレコード&カセット。
テレビでは、プロ野球のナイター中継が主役だったころの話です。



入学後、担任の先生（音楽）の勧めを断り切れずに入った吹奏楽部。けれど…
いつしか気づいたら、寝食も後回しにして熱中することになっていた3年間。
嬉しくて悔しくて、熱い涙が自然とあふれてくるような体験を味わわせてもらえました。

さて… 明日からは夏休み。二十日間の登校日を交えた夏がスタートします。
そして、5月末の分散登校での学校再開からまもなく2ヶ月を迎えます。
各教科の授業にまじめに取り組む生徒たちの姿。
休み時間に友達と柔らかな表情でやりとりする姿。
放課後の運動場や体育館で、マスクを外してボールを追いかける姿。
校舎のあちこちからは、吹奏楽部の楽器の音色も聞こえてきます。
学校が、平穏な日常を少しずつ取り戻していることを実感できるようになりました。
だから一方で、部活動に汗や涙を流してきた3年生にとって、
これまでの全てを賭けて挑む最後の大会が失われた今年の状況を歯痒く残念に思います。
突然のコロナによって「その瞬間に魂を込める」機会が奪われたことを悲しく思います。

7月に入って以降、土日毎に、
各運動部では、最後の交流試合が催されています。
学校を離れて、「TSUDA」のユニホームに袖を通し、
キャプテンを中心にして円陣を組んだら、
同じ思いを重ねてきた他校生との久しぶりの力試しです。
大好きな競技でつながる仲間たちとの特別な時間。
3年間の活動を支えてこられた保護者の方々に混じって、
少し離れたところから、「しっかり楽しめよ」と願いつつ観戦しています。



あの厳しかった練習から40年あまりが経ち、大人になっても、
街角で偶然出会った先輩を前に、思わず「気をつけ」をして挨拶する自分がいます。
お世話になった顧問の先生は、ずっと人生の恩師になっています。
今でもやっぱり音楽が大好きで、時折コンサートに出かけたりします。
中学生の頃に蒔かれた種は、いつしか私の中に根を張って、人生を豊かにしてくれました。
それは、きっと今の皆さんにも起こるはずです。

吹奏楽部は25日に演奏会。
私も久しぶりに、子供たちと一緒にステージに上がれることをとても楽しみにしています。
学校長